

等級税	三九〇,〇〇〇	五五〇,〇〇〇	八五〇,〇〇〇	八八〇
所得税	一一〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	—	五三〇,〇〇〇
地租	九五〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	—	一四〇〇,〇〇〇
印紙税其他	一一〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一〇〇〇,〇〇〇
合計	一,〇一六,〇〇〇	九五〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,二二一〇,〇〇〇

一八九〇年

十分一税	四〇五,〇〇〇	—	—	四〇五,〇〇〇
等級税	八三〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	二一〇,〇〇〇	一,一八〇,〇〇〇
所得税	一一〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一,六五〇,〇〇〇
地租	一〇五,〇〇〇	五〇,〇〇〇	—	一,一〇〇,〇〇〇
印紙税其他	一六〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	三五〇,〇〇〇	二,二〇〇,〇〇〇
合計	一,六二〇,〇〇〇	一,九〇〇,〇〇〇	二,七〇〇,〇〇〇	二,〇八〇,〇〇〇

第七款 土地の價格 一八八九年四月「タイムズ」新聞は一七八〇年より

八八〇年に至るまで倫動に於て競賣せられたる英蘭并にウエリルス所在の土地計算表を掲載せり。即ち左の如し。

年次	エリクル	地代、磅	市價、磅	一エリクルに付地代、志	一エリクルに付市價、磅
自一七八〇年	七二,〇〇〇	七六,〇〇〇	二四三,〇〇〇	二一	三三八
自一八〇〇年	一三六,〇〇〇	一五二,〇〇〇	四九二,〇〇〇	二二	三六二
自一八二〇年	二四六,〇〇〇	二二一,〇〇〇	五八三,〇〇〇	二一	二三七
自一八四〇年	一八九,〇〇〇	二六一,〇〇〇	六八八,〇〇〇	二八	三六四
自一八六〇年	一一二,〇〇〇	一五三,〇〇〇	五二五,〇〇〇	二五	四三〇
自一八七〇年	一〇九,〇〇〇	一六三,〇〇〇	五五九,〇〇〇	三〇	五一三
百年間	八七四,〇〇〇	一,〇二六,〇〇〇	三,〇九〇,〇〇〇	二三	三五・一

第八款 食物の供給 過去三十五年間に於ける穀類の輸入額は左の如し。

年次	小麥	大麥	オート麥	玉蜀黍、其他	合計
單位一千噸	—	—	—	—	—

雜錄 合衆王國 地租 土地の價格 食物の供給 八八一

年次	本國產出額	輸入額	合計	一噸の市價、磅
自一八六一年至一八七〇年	一八,〇〇〇	三五〇〇	三八,〇〇〇	七,五〇〇
自一八七〇年至一八八〇年	二八,五〇〇	五,七〇〇	六二,〇〇〇	一六,五〇〇
自一八八〇年至一八九〇年	三八,五〇〇	七,八〇〇	七〇,〇〇〇	一八,二〇〇
自一八九〇年至一九〇〇年	二四,〇〇〇	五,五〇〇	三八,〇〇〇	一〇,一〇〇
三十五年間	一〇九,〇〇〇	二二,五〇〇	二〇八,〇〇〇	五八,二〇〇
自一九〇〇年至一九〇五年	二〇,〇〇〇	二六,〇〇〇	三八,〇〇〇	九,〇〇〇

合衆王國に於ける小麦の消費高は、开が人口に比例するに一八八八〇年までは昂進せしが、其後漸次低落せり。即ち左の如し。

毎年一人に付小麦消費額、單位封度

自一八八一年至一八九〇年 七八
 自一八八一年至一九〇五年 二八二
 自一八八一年至一九〇五年 三六〇
 自一八八一年至一九〇五年 七〇

四十五箇年間に於ける穀類并に肉類の生産額は左の如し。

毎年の噸數

一人に付單位封度

年次	穀類	肉類	穀類	肉類
自一八五一年至一八六〇年	九,七五〇,〇〇〇	九,五〇〇,〇〇〇	七八〇	七九
自一八六〇年至一八七〇年	九,七〇〇,〇〇〇	一〇,四〇〇,〇〇〇	七二〇	七七
自一八七〇年至一八八〇年	八,五二〇,〇〇〇	一〇,五〇〇,〇〇〇	五七〇	七一
自一八八〇年至一八九〇年	七,八二〇,〇〇〇	一〇,八〇〇,〇〇〇	四七〇	六五
自一八九〇年至一九〇五年	七,五八〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	四四〇	六三

外國より來る肉類の輸入額は過去二十箇年間に於て二倍以上に達せり。其噸量左の如し。

年次	肉類	噸數	單位封度
自一八七五年	一〇〇,〇〇〇	一八二,〇〇〇	二五八,〇〇〇
自一八八五年	一〇〇,〇〇〇	一八二,〇〇〇	二五八,〇〇〇
自一九〇五年	五六,〇〇〇	八六,〇〇〇	二二七,〇〇〇

附 錄 合衆王國 食物の供給

鹹豚肉	一四五〇〇〇	三三二〇〇〇	二九二〇〇〇
豚脂	二七〇〇〇	四四〇〇〇	六七〇〇〇
家禽	一六〇〇〇	一八、〇〇〇
合計	三二八〇〇〇	五五〇〇〇〇	八六二、〇〇〇

右羊肉并に牛肉の中には生存せる牛羊を包含す。即ち内譯すれば牡牛は七百五十リ、アラ綿羊は九十リ、アラにして其他は凡て死肉とす。

第九款 家畜 合衆王國に於ける家畜は一八四六年以來許多の増加を爲せり即ち左の如し。

年次	馬	牛	綿羊	豚
一八四六年	二〇五〇〇〇〇	七九五〇〇〇〇	二七、九〇〇、〇〇〇	三六九〇〇〇〇
一八九六年	二、一〇〇〇〇〇	一〇、九〇〇、〇〇〇	三〇、八〇〇、〇〇〇	四二八〇〇〇〇
一八九五年に於ける牝牛并は綿羊の數は人口百人に付き左の割合なり。	英 蘭	蘇格蘭	愛 蘭	合衆王國
牝 牛	一七	二五	九五	二八

綿 羊 六七 一四〇 九〇 七五

一八九四年愛蘭より大不利頓へ輸送したる家畜の頭數及び價格左の如し。

頭 數	三、四〇〇〇	八二七、〇〇〇	九五八、〇〇〇	五八七、〇〇〇
價格、磅	三、四〇〇〇〇	八二七〇〇〇〇	一、四四〇〇〇〇〇	一、一七〇〇〇〇〇	一、一三三〇〇〇〇

第十款 牛乳 茲に牝牛四百萬頭ありとせよ夫より搾取する牛乳は平均一頭に付三百五十ガロンを得而して其消費高は百萬ガロンの單位を以て計算せば左の如し。

使用品目	ホワード	トルンベル	ピア	シエルドン	ミーン
牛 乳	五七〇	五九五	五七〇	六一六	五八八
牛 酪	五六四	四五〇	六一六	五四〇	五四二
乾 酪	三〇五	二四〇	二三四	二三四	二四八
合計	一、四三九	一、二八五	一、四一〇	一、三八〇	一、三七八

前表に據れば毎年の産額牛酪は九萬噸、乾酪は十一萬噸となる、即ち每一噸の牛酪

を製するには六千ガロンの牛乳を要し、每一噸の乾酪を製するには二千三百ガロンの牛乳を要する割合なり。

第十一款 運河 一八九〇年に刊行したる統計表に據れば、合衆王國に於ける航行河川并に運河は三千八百十四哩にして内一千二百哩は鐵道會社の所有に屬せり、并が毎年の貨物運搬額は三千四百萬噸にして其總收高は百七十萬磅とす。

第十二款 家屋 倫動に於ける借家賃は、一八四一年には僅かに九百六十萬磅なりしが、半世紀後の現時に於ては四千萬磅に上りて四倍以上の増加を示せり。倫動には七十萬戸の家屋と二千一百哩の街路ありて、一八八六年に於ては建物の價格最も昂騰して一平方フットに付き二十九磅、即ち一エーカーに付一百二十六萬磅の市價を有したりき。倫動に現存せる家屋の價格は六億七千萬磅にして即ち一人に付一百六十磅の割合を有す而して巴黎の家屋價格は一人に付二百十八磅の比例なり。

第十三款 織物製造 一八五一年より一八九四年に至る間の製造高左

の如し。

價格、單位一百萬磅

	自一八五一年 至一八六〇年	自一八六一年 至一八七〇年	自一八七一年 至一八八〇年	自一八八一年 至一八九四年	四十四ヶ 年間合計
木綿					
製造高	五六二	八三〇	一、〇二〇	一、四八六	三、八九八
輸出高	三八一	五九六	七一九	九九七	二、六九三
内國用高	一八一	二三四	三〇一	四八九	一、二〇五
毛織物					
製造高	三六六	五〇八	五五五	七五三	二、一八二
輸出高	一二八	二三七	二六二	三一九	九四六
内國用高	二三八	二七一	二九三	四三四	一、二三六
絹布					
製造高	一七三	一四六	一〇八	一一三	五四〇
輸出高	七	一〇	一一	八	三六
内國用高	一六六	一三六	九七	一〇五	五〇四
麻布					

製造高	一六五	一七〇	一七三	六三六
輸出高	九五	八二	八八	三三二
内國用高	七〇	八八	八五	三二四
絨氈				
製造高	一〇〇	一五六	二二二	五三八
輸出高	一六	三三	四七	一〇七
内國用高	八四	一二三	一六五	四三一
製造高合計	一七四九	二〇〇九	二七三七	七、七九四
輸出高合計	九五四	一、一〇七	一、四五九	四、一〇四
内國用高合計	七九五	九〇二	一、二七八	三、六九〇

(絹布の輸出は單に生絲のみとす)

ブラッドフォードのサー、ジョー、バーンス氏は一八八六年の報告に於て、大不利
顛毛織物の産額は其價格年々六千四十萬磅と計算せり。

第十四款 鐵並に鋼鐵

産額は大概左の如きものありき。

鐵、單位一千噸

年次

自一八五一年	三二、五〇〇
自一八六〇年	二二、二〇〇
自一八六一年	一八、七〇〇
自一八七〇年	四七、四〇〇
自一八七一年	六五、五〇〇
自一八八〇年	二四、二〇〇
自一八八一年	一〇、二四〇〇
自一八八三年	三四、七〇〇
四十三ヶ年間	二四七、八〇〇

製造高 輸出高 内國用高

鋼鐵、單位一千噸

自一八五一年	二〇、五〇〇	九〇〇	二〇〇	七〇〇
自一八六〇年	二〇、五〇〇	九〇〇	二〇〇	七〇〇
自一八六一年	二八、七〇〇	一、七〇〇	三五〇	一、三五〇
自一八七〇年	四一、三〇〇	八三〇〇	三、八〇〇	四、五〇〇
自一八七一年	六七、七〇〇	一四、六〇〇	二一、四〇〇	二一、四〇〇
自一八八〇年	一五八、〇〇〇	一八、九五〇	二七、九五〇	二七、九五〇
四十三ヶ年間	一、五八〇、〇〇〇	一、八、九五〇	二七、九五〇	二七、九五〇

製造高 輸出高 内國用高

以上四十三ヶ年間大不利顛に於ける鐵の製造高は二億四千八百萬噸にして内、其
輸出額は九千萬噸鐵器製造に使用せられたる高は一億一千一百万噸、鋼鐵に改造
せられたる高は四千七百万噸とす、而して右四千七百万噸の中、二千八百萬噸は種
々製作品に向つて使用せられ、一千九百万噸は海外に輸出せられたり。

第十五款 銅鉛、其他

産額は大概左の如し。

銅、單位一千噸

年次

自一八五一年	五九〇
自一八六〇年	二六〇

製造高

輸出高

内國用高

製造高

輸出高

内國用高

附 録 合衆王國 鐵並に鋼鐵 銅鉛其他

八八九

自一八七〇年	九一〇	四六〇	四五〇	一〇七〇	三九〇	六八〇
自一八七一年	九三〇	五六〇	三七〇	一四一〇	三八〇	一〇三〇
自一八八一年	一、七六〇	八一〇	九五〇	二、二五〇	五八〇	一、五七〇
自一八八三年	四、一九〇	二、〇九〇	二、二〇〇	五、四二〇	一、六〇〇	三、八二〇
四十三ヶ年間	六八〇	一九〇	四九〇	一、五六〇	二六〇	一、三〇〇
自一八五一年	九〇	二〇	七〇	二〇〇	三〇	一七〇
自一八六〇年	一三〇	四〇	九〇	二二〇	六〇	一六〇
自一八七〇年	一八〇	六〇	一二〇	三一〇	六〇	二五〇
自一八八〇年	二八〇	七〇	二二〇	八三〇	一一〇	七二〇
自一八八一年	二八〇	七〇	二二〇	八三〇	一一〇	七二〇
四十三ヶ年間	六八〇	一九〇	四九〇	一、五六〇	二六〇	一、三〇〇
自一八五一年	三三〇	一八	三三〇	一八	三三〇	三三二

第十六款 革類

其製造高輸出高内國消費高は大概左の如し。

單位百萬磅

製造高

輸出高

内國用高

錫

亞鉛

八九〇

自一八六一年	四一〇	二三	三八七
自一八七〇年	四五〇	三五	四一五
自一八八〇年	七二〇	五二	六六八
自一八八一年	七二〇	五二	六六八
四十三ヶ年間	一九一〇	一二八	一、七八二

第十七款 飲料 合衆王國に於ける酒精に并に麥酒の消費高は平均一人に付左の割合なり。

一人に付、單位一ガロン

年次	酒精	麥酒	年次	酒精	麥酒	年次	酒精	麥酒
一八五三年	一一〇	二七一	一八七〇年	一一〇	三二八	一八九〇年	一〇二	三〇〇
一八六〇年	〇九三	二五八	一八八〇年	一〇九	二七八	一八九五年	一〇〇	二九七

合衆王國の酒精消費高に就ては官廳の報告には單に内國製造の分のみを區別せり故に若し入港噸數に比例して其輸入高を分類すれば、一千八百九十五年に於ける消費高總計左の如くなる可し。

	内國製造品高	輸入品高	合計	一人に付平均高
英 蘭	二〇四〇、〇〇〇	六四〇〇、〇〇〇	二六八〇、〇〇〇	〇・八八
蘇 格 蘭	六、五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇	一・八〇
愛 蘭	四、二〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	一・〇五
合衆王 國	三、一〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	三、九〇〇、〇〇〇	一・〇〇

第十八款 新聞紙 セル氏著印刷字典に據れば、毎日倫敦市中に配附する新聞紙の数は四百八十萬部なりといふ。合衆王國に於ける出版用紙の消費高は甚だ夥しきものにして、日刊並に毎週刊行の新聞紙雜誌の數一週間に殆んど四千二百萬部の多きに達す書籍用紙を除く。一八四一年の頃英蘭に於ては倫敦の外日刊新聞なるもの絶へてなかりしが、現今合衆王國に於ける發行高は毎月一億七千四百萬部に上り郵便局を經過する書信に比例せば、一部八十二頁の割合を以て國內に配付せらるゝなり。

第十九款 海運 一八九四年に於ける船舶噸數左の如し。

	蒸汽船	帆前船	合計	運搬力	人口百人に對する噸數
--	-----	-----	----	-----	------------

英 蘭	四、五一〇、〇〇〇	一、九二〇、〇〇〇	六、四三〇、〇〇〇	一九、九六〇、〇〇〇	六六
蘇 格 蘭	一、三三〇、〇〇〇	九三〇、〇〇〇	二、二六〇、〇〇〇	六、二五〇、〇〇〇	一五一
愛 蘭	一、三〇〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇	一五
合衆王 國	五、九七〇、〇〇〇	二、九九〇、〇〇〇	八、九六〇、〇〇〇	二六、八七〇、〇〇〇	六九

一八九四年に於ける船舶入港噸數左の如し。

	海洋航行船	沿岸航行船	合計	人口百人に對する噸數
英 蘭	三、五二〇、〇〇〇	四〇、三〇〇、〇〇〇	七、五五〇、〇〇〇	二五〇
蘇 格 蘭	三、八〇〇、〇〇〇	八、五〇〇、〇〇〇	一二、三〇〇、〇〇〇	二九五
愛 蘭	八〇〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇	七、四〇〇、〇〇〇	一六三
合衆王 國	三、九八〇、〇〇〇	五、五四〇、〇〇〇	九、五二〇、〇〇〇	二四〇

第二十款 富有 一八一二年に於けるホルクォーソンの計算並に一八三三年に於けるベンレールの氏の計算は左の如し。但し百萬磅を以て單位とす。

	英 蘭	蘇格蘭	愛 蘭	合衆王國
地	一八二一年 一八三三年	一八二一年 一八三三年	一八二一年 一八三三年	一八二一年 一八三三年
土	八三三 一、〇〇〇	一六六 二〇〇	三三三 四〇〇	一、三三三 一、六〇〇

家畜	113	150	20	26	50	66	183	242
家屋	300	400	30	40	70	93	400	533
器具	180	173	20	20	50	53	250	246
雜類	451	748	50	87	71	138	572	973
合計	1,877	2,471	286	373	574	750	2,737	3,594

ボルター氏の計算は一八四〇年に於て四十一億磅、ギッフエン氏の計算は一八八五年に於て百億三千七百萬磅なりき。而して富有額を人口に比例せば左の如し。

年次	百萬磅	人口	一人に付磅
一八一二年	2737	1,820,000	150
一八四〇年	4100	2,660,000	154
一八六〇年	7206	2,890,000	249
一八八五年	10,337	3,600,000	278
一八九五年	11,806	3,910,000	302

第二十一款 貯蓄銀行 人口總數と預金者との比例は一八五〇年以來

五倍の増加を示せり。

年次	預金者	人口	人口一千人に對する預金者の割合
一八五〇年	1,060,000	2,740,000	39
一八九三年	7,220,000	3,840,000	188

第二十二款 地方經費 這は一八六八年以來二倍の増加を爲せり即ち左の如し。

一八六八年、磅	一八九二年、磅	一八六八年、磅	一八九二年、磅
貧民救助費	920,000	1,090,000	英 蘭 3,040,000
學校費	8,200,000	8,200,000	蘇 格 蘭 2,600,000
警察費其他	26,900,000	56,900,000	愛 蘭 3,100,000
合計	36,100,000	76,000,000	合計 36,100,000

一八九四年に於ける英蘭並にウェールズの地方債は二億二千四百二十萬磅に達せり。

第二十三款 愛蘭の公債 官廳の報告に據れば左の年次間に於ける

附 錄 合衆王國 貯蓄銀行 地方經費 愛蘭の公債

公債總額左の如し。

一七八四年	二、一三〇、〇〇〇	一八〇一年	二、六八四、〇〇〇
一七九〇年	二、四〇〇、〇〇〇	一八一七年	一、一三、五〇〇、〇〇〇
一七九八年より一八〇一年に至るの間は、内亂平定の爲め並に聯合に同意したる貴族に支拂ふ爲め、俄然多額の經費を要するに至れり。而して聯合後亦た財政の處理甚だ放漫に流れたりしが故に一八一七年に於て愛蘭國庫は遂に閉鎖せられたり。			
第二十四款 三州の富力			
富力の割合左の如し。			
英 蘭	蘇格蘭	愛 蘭	合衆王國
人 口	一〇・五	一一・八	一〇〇・〇
郵便局	九〇	六〇	一〇〇・〇
鐵道收入	一〇・七	四〇	一〇〇・〇
農 業	一・二二	二・三九	一〇〇・〇

製造業	八〇・二	一五・五	四・三	一〇〇・〇
富 有	八五・二	九・三	五・五	一〇〇・〇

第十九節 佛蘭西

第一款 農業 馬鈴薯並にピートルトの收穫噸數左の如し。

馬 鈴 薯	一八四〇年	一八六〇年	一八九四年
ピートルト	五三〇、〇〇〇	六四〇、〇〇〇	一二八〇、〇〇〇
	八〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一八、四〇〇、〇〇〇

レヴァツシユール氏は一八三〇年に於ける農産物總額を二億六千八百萬磅となし、又一八六九年に於ては同産物總額を三億六千八百萬磅なりと計算せり。佛蘭西に於ては大不利顛の三百四十ガロンに對し平均三百二十五ガロンの牛乳を得べき牝牛五百二萬頭を有せり、而して牛酪の産出は年々十一萬噸にして牛乳類の産出額は其價格四千六百萬磅に達す、其他野禽並に鶏卵は其價格一千二百七十萬磅、蜂蜜の價格は八十萬磅なり。ド、フオツイユ氏並に其他の人々は肥料を農産物の一として計算せり、而して其分量は通常八千四百萬噸にして其の價格三千五

百萬磅より四千萬磅の間なりとなせり然れども最も信を措くに足るべきド、フオ
ヰイユ氏は其分量を壹億萬噸と計算せり。

第一欸 土地の價格 土地は一八一七年チャプタル氏の計算の時より一
八七九年に至る間に於て三倍の騰貴をなせり然れども其後三分一の下落を來せ
り。

	面積、エーカル		價格、百萬磅		一エーカル に付、磅
	一八七七年	一八五五年	一八七七年	一八五五年	
耕作地	五七〇〇〇〇〇〇	四六六〇〇〇〇〇	五四八	二三〇	一〇
草原	八七〇〇〇〇〇〇	一五、九〇〇〇〇〇	二七九	七四五	三三
葡萄園	六八〇〇〇〇〇〇	四、四〇〇〇〇〇〇	一九六	三二二	二九
森林	二二、一〇〇〇〇〇〇	二〇、七〇〇〇〇〇〇	一三一	二五〇	二四
牧場其他	一九〇〇〇〇〇〇〇	二二、九四〇〇〇〇〇	四四	五六	四九
合計	一、一三六〇〇〇〇〇〇	一、一〇五四〇〇〇〇〇	一、一九八	三、六六四	二、五八〇

第三欸 小作地 一八八三年の報告と一八一五年の報告とを比較すれば
左の如し。

等級	小作地の數		單位一千エーカル		小作地に對す るエーカル數
	一八一五年	一八八三年	一八一五年	一八八三年	
大地	一九一、〇〇〇	一四二、〇〇〇	七三七〇〇	四一、七〇〇	三九〇
中地	四七四、〇〇〇	一、四九六、〇〇〇	一九五〇〇	四九五〇〇	四一
小地	二、〇三八、〇〇〇	一、八六五、〇〇〇	一七三〇〇	九三〇〇	八
合計	二、七〇三、〇〇〇	三、五〇三、〇〇〇	一、一〇五〇〇	一、〇〇五〇〇	四一

佛蘭西に於ては平均三十三エーカルの中地は現時小作地全部の半數に跨れり、然
るに一八一五年に於ては僅かに開が六分の一なりし。

第四欸 穀類の收穫 現時一エーカルに付き穀類の産出額は一八三五
年に於ける平均十六ブッシュェルに對し二十一ブッシュェルの割合なり、即ち左の如
し。

年次	小麥	オート麥	大麥	ライ麥
一八三五年	一四七	一九一	一五四	一三七
一八九四年	一九八	二六四	二二六	二七一

第五款 運輸

佛蘭西に於ける道路、鐵道並に運河に依れる貨物運搬の量目は一八五一年以來五倍の増進を示す、即ち左の如し。

十哩運搬數、單位百萬噸

年次	道路	鐵道	運河	合計
一八五一年	九九	三三	一〇八	二三九
一八六九年	一〇四	三九一	一二五	六二〇
一八八二年	九一	六七七	一四〇	九〇八
一八九三年	一〇九	七六六	二二六	一、一〇一

前表に掲げたる運河運搬貨物の中には三千一百五十哩の運河と四千八百五十哩の航行河川とに於ける運搬貨物を包含す。而して道路運搬貨物は二萬二千哩の縣道及び二十七萬哩の地方道路に於ける運搬貨物を除きて單に二萬四千哩の國

道に於ての運搬貨物の噸數なり。蓋し此等縣道、地方道路の運搬貨物の數は到底知る可からざればなり。一八九三年に於て右に記載したる道路、鐵道、運河の一哩に對する運搬噸數左の如し、但し一噸十哩運搬の計算なり。

	單位百萬噸	道路哩數	一哩間運搬噸數
鐵道	七六六	二四、六〇〇	三一、三〇〇
運河	二二六	八、〇〇〇	二八、三〇〇
道路	一〇九	二四、〇〇〇	四、五〇〇
合計	一、一〇一	五六、六〇〇	一、九、五〇〇

鐵道に於ける貨物運搬數は殆ど全部の七割を占む、然れ共運河の一哩に對する貨物運搬數は敢てそれより劣る所なし。

第六款 富有

公平なる識見を有する記者は佛蘭西國民の富有を計算して過去四十五箇年間に於て二倍したるとを示せり、而して亦合衆王國の富有も過去四十年間に於て二倍の増加を現はせり。佛蘭西の富有額は左の如し。

富有、單位百萬磅

年次	不動産	動産	合計	記者
一八五三年	三、六八〇	一、三二〇	五、〇〇〇	キラールヂン
一八六一年	四、八〇〇	二、二〇〇	七、〇〇〇	ウチロースキ
一八七二年	四、〇〇〇	三、八〇〇	七、八〇〇	ダイエン
一八八一年	四、六〇〇	四、〇四〇	八、六四〇	モーニー
一八九一年	四、五五八	四、七四五	九、三〇三	政 府

不動産は現時は三十年前より減少し而して動産は其等の年限間に於て二倍よりも多く増加したり、蓋し所得税を支拂へる佛國の合資會社の資本は一八八七年に於て十三億六千萬磅にして其内鐵道資本は五億四千萬磅に達す。

第七款 租稅 經濟字典に據れば租稅の額左の如し。

年次	直稅	間稅	合計
一八三〇年	一〇、〇〇〇、〇〇〇 磅	二二、〇〇〇、〇〇〇 磅	三三、〇〇〇、〇〇〇 磅
一八六九年	一三、二〇〇、〇〇〇	五三、二〇〇、〇〇〇	六六、四〇〇、〇〇〇
一八八九年	一六、三〇〇、〇〇〇	九五、四〇〇、〇〇〇	一一一、七〇〇、〇〇〇

コスト氏の言に據れば市府の人民は一人前租稅百二志を納附し而して地方人民は僅かに五十六志なりと即ち左の如し。

	地 方	市 府	合 計
財 産 稅	一、二八〇、〇〇〇 磅	六、〇〇〇、〇〇〇 磅	一、八八〇、〇〇〇 磅
關稅并に國稅	二〇、一〇〇、〇〇〇	六一、九〇〇、〇〇〇	八二、〇〇〇、〇〇〇
印紙稅其他	一三、〇〇〇、〇〇〇	二八、四〇〇、〇〇〇	四一、四〇〇、〇〇〇
合 計	四五、九〇〇、〇〇〇	九六、三〇〇、〇〇〇	一四二、二〇〇、〇〇〇

第八款 公債 佛蘭西統計年鑑に據れば公債額左の如し。

年次	百萬磅	年次	百萬磅
一八三三年	二〇五	一八七五年	九三八
一八六九年	五二〇	一八九一年	一、二一九

公債は一八八五年に於て九億五千萬磅より一八九五年に於ては十億四千萬磅に昇進し、而して最近十箇年間に於て九千萬磅の増加を示せり。

第二十節 獨 逸

附 錄 佛蘭西 公債 獨逸

第一款 人口 一平方哩に付き人口左の如し。

サキソニー	六五〇	ウルテンベルヒ	二七五	ブルシヤ	二三四
アルサス	二九〇	小諸州	二七〇	ババリヤ	一九四

之を獨逸全國に割附すれば一八一五年に於ける一百人に對し現時は二百四十八人の割合なり。

第二款 農業 生産的並に不生産的農業地の面積は左の如し。但し一千

エークルを以て單位とす。

	收穫地	牧場	森林	荒地	合計
ブルシヤ	四〇二〇〇	一六三〇〇	二〇四〇〇	九二〇〇	八六、一〇〇
ババリヤ	八八〇〇	二六〇〇	五九〇〇	一四〇〇	一八、七〇〇
其他諸州	一六二〇〇	二八〇〇	八、二〇〇	一、五〇〇	二八、七〇〇
獨逸	六五、二〇〇	二、七〇〇	三四、五〇〇	一、一〇〇	一三三、五〇〇

農産物の價格は大概左の如し。

噸數	價格、磅	價格、磅
----	------	------

穀類	一八、二〇〇、〇〇〇	一〇九、二〇〇、〇〇〇	葡萄酒、果物其他	四四、七〇〇、〇〇〇
馬鈴薯	三二、八〇〇、〇〇〇	六三、六〇〇、〇〇〇	肉類	六三、〇〇〇、〇〇〇
菜根	二二、〇〇〇、〇〇〇	一六五、〇〇〇、〇〇〇	牛乳並に家禽	七三、〇〇〇、〇〇〇
乾草	一四、〇〇〇、〇〇〇	二八、〇〇〇、〇〇〇	雜類	一九、〇〇〇、〇〇〇

右の價格は總計四億一千七百萬磅にして之を各州に分類すれば左の如し。

價格、單位一千磅

	ブルシヤ	ババリヤ	ウルテンベルヒ	其他諸州	獨逸
穀類	六五、〇〇〇	一二、四〇〇	三五、〇〇〇	二八、三〇〇	一〇九、二〇〇
馬鈴薯	四一、八〇〇	八、六〇〇	二、〇〇〇	一一、二〇〇	六三、六〇〇
乾草	二〇、四〇〇	三五、〇〇〇	一、〇〇〇	三一、〇〇〇	二八、〇〇〇
雜類	三八、〇〇〇	八、三〇〇	二、四〇〇	二二、五〇〇	六二、二〇〇
肉類	三七、八〇〇	九、四〇〇	三、〇〇〇	一一、八〇〇	六三、〇〇〇
牛乳、其他	五五、〇〇〇	一三、八〇〇	四、六〇〇	一八、六〇〇	九二、〇〇〇
合計	二五八、〇〇〇	五六、〇〇〇	一六、五〇〇	八六、五〇〇	四一七、〇〇〇

第三款 食物の供給

穀類並に肉類の生産額は大概左の如し。

	噸數		一人に付、リイブラ
	穀類	肉類	
フルシヤ	一〇、五〇〇、〇〇〇	九二〇、〇〇〇	七二〇
ババリヤ	二、五〇〇、〇〇〇	二二五、〇〇〇	九二〇
其他諸州	五、二〇〇、〇〇〇	三七五、〇〇〇	八三〇
合計	一八、二〇〇、〇〇〇	一、五二〇、〇〇〇	八二〇

穀類の中には人及び家畜の需要に供する凡ての穀物を包含す。

第四款 金物類

金屬貨物の産出總額左の如し。但し百萬磅を以て單位とす。

	一八五〇年	一八七二年	一八九二年
鐵並に鋼鐵
銅、亞鉛、其他
合計

第五款 鑛物

官廳の報告に據れば産出總噸數は左の如し。

年次	石炭	鐵	年次	石炭	鐵
一八六〇年	一八八〇年
一八七〇年	一八九三年

第六款 内國貿易

各州に配附すれば一八九四年に於ける貿易總額左の如し。

農産物	單位、百萬磅			
	普魯西	ババリヤ	サキン	ウルテン
製造品其他
輸入品
合計

第七款 貯蓄銀行

二十箇年間に於ける普魯西貯蓄の増進大略左の如し。

附錄 獨逸 食物の供給 金物類 鑛物 内國貿易

九〇七

預金 人 金 高 磅

一八七二年 一七〇六、〇〇〇
 二八、九〇〇、〇〇〇
 一八九二年 五七、七三〇、〇〇〇
 一七〇三、〇〇〇、〇〇〇

即ち一戸一人の預金人を有する割合なり。

第二十一節 露西亞

第一款 人口 一八三一年以來三大市府の人口は三倍に増進せり。

聖彼得斯堡	モスコウ	ワルンツ	合計
一八三一年 三三四、〇〇〇	三〇八、〇〇〇	一五一、〇〇〇	七八三、〇〇〇
一八九二年 一〇三五、〇〇〇	八二〇、〇〇〇	四五五、〇〇〇	二、三二一〇、〇〇〇

露西亞には十萬以上の人口を有する市府十四箇あり。

第二款 農業 收穫地の面積左の如し但しエーケルを以て單位とす

穀類	露西亞	波蘭	合計エーケル	收穫價格
一六四二〇、〇〇〇	八六〇、〇〇〇	一七二、八〇〇、〇〇〇	二五八、〇〇〇、〇〇〇	磅
馬鈴薯	五七〇〇、〇〇〇	二六〇、〇〇〇	八三〇、〇〇〇	二二、〇〇〇、〇〇〇
乾草	四六四〇〇、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	四八、五〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇、〇〇〇

亞麻、大麻	四七〇〇、〇〇〇	四七〇〇、〇〇〇	一四〇〇、〇〇〇
雜類	二七〇〇、〇〇〇	三七〇〇、〇〇〇	三二〇〇、〇〇〇
合計	二三八、〇〇〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇、〇〇〇	二五五、〇〇〇、〇〇〇

第三款 家畜 一八八八年に於ける家畜頭數左の如し。

露西亞本部	馬	牝牛	綿羊	豕類
二九六〇、〇〇〇	二四六、〇〇〇、〇〇〇	四四、五〇〇、〇〇〇	九二〇、〇〇〇	九二〇、〇〇〇
波蘭	一二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三八〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
合計	二〇、八〇〇、〇〇〇	二七六、〇〇〇、〇〇〇	四八、三〇〇、〇〇〇	一〇七〇、〇〇〇

第四款 土地 一八八六年より一八八八年に至る間に於て帝國銀行に抵當として質入れたる土地は耕地八百八十六萬エーケル並に森林地其他四百七十五萬エーケルにして此公定價格は三千四十萬磅即ち平均耕地に對しては一エーケルに付き六十五志、森林地に對しては八志の割合なりき。但し公定價格は賣買價格の三分の二なりとす。

第五款 奴僕 十八世紀の終末に於ては、通常奴僕の市價一人に付大人は二

十四磅、小童は十二磅、小女は六磅の割合なりき。一八六一年奴隸解放に際しては其總數四千七百八十萬人にして、其内二千六百萬人は王室の所有に屬し、貴族は一人に付き平均八百人の奴僕を所有したりき。

第六款 製造業 公報に據れば、一八九四年に於ける製造所の産出額は左の如し。但し砂糖、飲料、並に煙草の製造高を除く。

製造所	人力	製造高	一人力に對する製造高
露西亞	一九五〇七	九八三、〇〇〇	一三七、七〇〇、〇〇〇 磅
波蘭	四、一七二	一五〇、〇〇〇	一三四、〇〇〇、〇〇〇
合計	二、三三、〇〇〇	一、一三三、〇〇〇	一六一、一〇〇、〇〇〇

右の計算は總數六百十萬人の職工を有する小製作場を算入せざるものとす。
第七款 礦物 石油の産出額は大概左の如し。

粗品	精製品	價格	毎一年に付産出價格
單位百萬ガロン			
自一八八三年至一八八〇年	六七〇	一八五	七七〇、〇〇〇 磅
自一八八一年至一八八九年	四、五一〇	一一六〇	一八、〇〇〇、〇〇〇
自一八九〇年至一八九三年	三、九二〇	一一一〇	二二三、〇〇〇、〇〇〇
三十一箇年間	九、一〇〇	二、五四五	三、八〇〇、〇〇〇

第二十二節 奧地利匈牙利

第一款 農業

ニッマインスバトラルト氏は穀類の收穫を計算して一八五〇年には六千萬磅、一八八七年には壹億二百萬磅となせり。通常一エーケルに對する産出額は左の如し、但しブツシエルを以て單位とす。

小麥	大麥	オート麥	ライ麥	其他の穀類
奧地利	一五、八	二〇〇	二二六	一五、六
匈牙利	一八、六	二〇、二	二二、五	一六、二
農民の數左の如し。				

第二款 耕作地

耕作地	農民の數左の如し。	奧地利	匈牙利	合計
地 主	一、五一〇、〇〇〇	八九〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	
小作人	四九五、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五九五、〇〇〇	

附 錄 製造業 礦物 奧地利 匈牙利 耕作地

労働者	六、四六五、〇〇〇	三、四八〇、〇〇〇	九、九四五、〇〇〇
合計	八、四七〇、〇〇〇	四、四七〇、〇〇〇	一三、九四〇、〇〇〇

第三款 製造業 織系の消費噸數左の如し。

年次	綿	羊毛	亞麻、其他	合計
一八三〇年	五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	六五、〇〇〇
一八六〇年	四、五〇〇	四〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一八五、〇〇〇
一八九四年	一三五、〇〇〇	五五、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	三七〇、〇〇〇

官廳の報告に據れば一八八八年に於ける織物業は左の如し。

機業所

労働者數

紡錘數

織機馬力數

木綿織物業	一九〇〇	九六、〇〇〇	二三五、〇〇〇	四二、〇〇〇
毛織物業其他	三〇五五	一一九、〇〇〇	一〇五、〇〇〇	二二、〇〇〇
合計	四九五五	二一四、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇	六五、〇〇〇

第四款 運輸 一八九三年に於ける運輸に就て英吉利哩數は左の如し。

奥地利

匈牙利

合計

公道	六九〇〇〇	三〇〇〇〇	九九〇〇〇
鐵道	一〇、三六〇	七、三六〇	一七、七二〇
河川	四、一五〇	三、〇五〇	七、二〇〇
合計	八三、五一〇	四〇、四一〇	一二三、九二〇

第五款 富有 ヒケール氏は一八三六年に於ける全帝國の富有を十九億二千萬磅と計算したり、即ち富有は六十年間に於て明白に二倍以上の増加をなしたり。

第六款 家屋 开が平均一人に對する價格割合は單に獨逸に於ける價格の三分の二に相當す。家屋價格を標準として賦課せる家屋税に徴すれば其價格凡そ左の如し。

土地、公領地	單位百萬磅	人口	一人に對する家屋價格
ボヘミア	一九八	三、四五〇、〇〇〇	五七
ガリシア	九三	五、八五〇、〇〇〇	一六
附 錄 奥地利匈牙利 富有 家屋 地方税	五一	六、六一〇、〇〇〇	八
			九二三

モラヴィア其他 二一八
 七九九〇〇〇〇
 一九
 合 計 四六〇
 三三、九〇〇、〇〇〇

前表には匈牙利の部を除けり。

第七款 地方税 匈牙利を除けば一八九二年に於ける地方税の總額左の如し。

總 額	一人に對する税額	總 額	一人に對する税額
埃地利	一一、二〇〇、〇〇〇磅	八二片	三八片
ボヘミア	一、一〇〇、〇〇〇	四六	五五
ガリシア	一、〇五〇、〇〇〇磅		
モラヴィア其他	一八四〇〇〇〇		

第八款 市税 維納府は二百十萬磅ブライクは六十二萬磅にして其他四十七市府より徴收する市税は合計一百九十萬磅なり。即ち全般の平均に於て市府の人口一人に付三十三志の割合なり。

第二十三節 伊太利

第一款 農業 著者の計算と官廳の計算とを比較すれば左の如し。

官廳の計算 磅
 著者の計算 磅

穀 類	五三、四〇〇、〇〇〇	五三、四〇〇、〇〇〇
葡萄酒	三三、五〇〇、〇〇〇	三三、五〇〇、〇〇〇
果物、野菜	九六〇〇〇〇〇	一五、二〇〇、〇〇〇
乾 草	二六、七〇〇、〇〇〇
肉類、牛乳、其他	七九〇〇〇、〇〇〇	七九、二〇〇、〇〇〇
合 計	一七五、五〇〇、〇〇〇	二〇八、〇〇〇、〇〇〇

耕地の總數は二百八十二萬にして、之を耕作人別に分類すれば左の如し。

	耕作地數	面積エークル	平均エークル
地主	一一六五、〇〇〇	三三、〇〇〇、〇〇〇	二六
借地人 (借地料の一半を作物にて地主に納むる人)	一一四五、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	一五
小作人	三二〇〇〇	七三〇〇、〇〇〇	二二
合 計	二八二〇〇〇	五八三〇〇、〇〇〇	二一

第二款 製造業 石炭並に鐵の消費噸數左の如し。

石 炭	一八五〇年	一八七〇年	一八九三年
附 錄 伊太利 農業 製造業	一〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三、七〇〇、〇〇〇

鐵……………五〇〇〇〇

一〇〇〇〇〇

九一六

第三款 貯蓄銀行

預金 人……………一七〇〇〇〇

五七〇〇〇〇

四四一〇〇〇〇

預金 高……………二二〇〇〇〇〇磅

一四八〇〇〇〇〇磅

七七二〇〇〇〇〇磅

第四款 富有

パンタレオニ「氏」の計算は左の如し。但一百萬磅を以て

單位とす。

年次

不動産

動産

合計

毎一人に對する富有額、磅

一八七六年……………一〇八〇

一〇八〇

七一〇

一七九〇

六三

一八八六年……………一三二〇

一三二〇

八七〇

二一九〇

七一

第二十四節 西班牙

第一款 人口

一平方哩の人口は一八六〇年に於ける八十五人に對し現時は九十二人の割合なり。而して各地方によりて人口の甚だ稠密なるを然らざるの差異あり。

エストレマデューラ……………四二

カスティル……………六二

アスタリア……………一三五

アラゴン……………五〇

ビスケー……………一〇七

ガリシヤ……………一五八

第二款 農業

一八六〇年に於ける官廳の測量に據れば左の如し。

耕作地

エーグル

非耕作地

エーグル

穀類收穫地……………二三、一〇〇、〇〇〇

牧場……………二二、〇〇〇、〇〇〇

葡萄園……………三二、〇〇〇、〇〇〇

森林……………一一、〇〇〇、〇〇〇

青物收穫地……………一三、七〇〇、〇〇〇

沙地……………四六、〇〇〇、〇〇〇

合計……………四〇〇、〇〇〇、〇〇〇

合計……………八〇〇、〇〇〇、〇〇〇

第三款 利得

西班牙に於ける三階級の人民に分配すれば、其利得高凡そ左の如きものあらん。

階級

人員

百萬磅

平均一人に對する利得、磅

貴族……………八六、六〇〇

四三

五〇〇

市民……………四五七、七〇〇

一一〇

二四〇

農民……………三〇八七、〇〇〇

一一〇

三五

合計……………三六三、一三〇〇

二六三

七二

附錄 西班牙 人口 農業 利得

九一七

第二十五節 瑞典

不動産 官廳の報告によれば左の如し。但し百萬磅を單位とす。

年次	土地	家屋	合計
一八六五年	一三三
一八七九年	五一	一六八
一八九三年	九六	二三六

第二十六節 丁抹

關稅 這は一三四八年始めて施行したるものにしてエルシノールを通過する商船の積載貨物の價格に對し百分の一の税金を徵收したり然るに一八五七年丁抹は大不利顛より三分の一即ち三百六十萬磅の賠償金を受領して此稅法を廢止せり。

第二十七節 荷蘭

第一款 農業 一八七二年に於て牛酪、乾酪の輸出額は四萬七千噸に達し一八九三年に於ては十萬三千噸に達したり然るに牝牛の數は九十八萬頭より八

十九萬頭に減じたり、荷蘭に於ては一八七二年にはマルガリーンの輸入少しもなし然れども一八九三年には三萬五千噸の輸入ありたり。

第一款 通商 一八九三年に於ける商品の輸入噸數は一千六百四十萬噸にして輸出噸數は九百六十萬噸なり、即ち平均價格は一噸に付前者は八磅後者は

拾磅の割合なり。

第二十八節 白耳義

土地の價格 一八九〇年に於ける評定借地料は七百五十萬磅なりしが蓋し這は實際の借地料一千萬磅より二割五分を減したる計算ならん。政府の當局者は土地の價格を三億磅と計算し正に借地料の三十倍となれり、蓋し當局者は價格算定の標準を實際の借地料に取りたるや疑を容れず。即ち一エークルに對する借地料は三十六志にして賣買價格は五十五磅に相當す。

第二十九節 合衆國

第一款 人口 一八三〇年以來統計報告の人口左の如し。

年次	人口	增加人員	割合
一八三〇年	一、二八六、〇〇〇
一八四〇年	一、七〇七、〇〇〇	四、二〇四、〇〇〇	三三三
一八五〇年	二、三一九二、〇〇〇	六、一二二、〇〇〇	三五八
一八六〇年	三、一四四三、〇〇〇	八、二五一、〇〇〇	三五六
一八七〇年	三、八五五八、〇〇〇	七、一五〇、〇〇〇	二二六
一八八〇年	五、〇一五六、〇〇〇	一一、五九八、〇〇〇	三〇一
一八九〇年	六、二六二二、〇〇〇	一一、四六六、〇〇〇	二四八
一八九六年	七、二八〇、〇〇〇	八、五五八、〇〇〇	一三七

一八六一年乃至七〇年に於ける人口増加度合の低減せるは、全くセセッション戦争の結果にして、殺害せられたる人員は實際僅に四十七萬人なりしと雖も、然れども之が爲め家族は四散し幾多外國よりの移民は歐洲に歸來する等殆ど三百萬の人口を失へり。

第二款 都府並に村落の人口 統計年鑑に據れば八千人以上の人口

を有する都會を都府として分類せり此等の都府は四十年間に於て二倍の増加を爲せり即ち左の如し。

年次	都府人口	村落人口	合計	都府人口	村落人口	合計
一八五〇年	三三三〇〇〇	一九八六二〇〇	二三、一九二〇〇	一四三	八五七	一、〇〇〇
一八九〇年	一、八二六五、〇〇〇	四四三、五七〇〇	六、二六二、〇〇〇	二九〇	七一〇	一、〇〇〇

都府の人口は新英蘭に於ては一千人に對し五百二十八人の割合にして南部諸州に於ては僅に九十八人の割合なり。

第三款 労働者 一八九〇年に於ては年齢十五歳より六十歳に至る男女の總數左の如し。

	亞米利加人	外國人	黑人	合計
新英蘭	一、八八七、〇〇〇	九五二、〇〇〇	二一、〇〇〇	二、八六〇、〇〇〇
中部諸州	五、七五五、〇〇〇	二、三九六、〇〇〇	二六五、〇〇〇	八、四一六、〇〇〇
南部諸州	六、二〇五、〇〇〇	三、三六〇、〇〇〇	三、一二五、〇〇〇	九、六六六、〇〇〇
西部諸州	一、〇七九、〇〇〇	四、〇三六、〇〇〇	二、二三〇、〇〇〇	一、五〇四、九〇〇

附録 合衆國 都府并に村落の人口 労働者 九二一

合計 二四、六三七、〇〇〇 七七二、〇〇〇 三六、三四、〇〇〇 三五、九九一、〇〇〇

第四款 男女 最近の人口表に據れば其總數並に割合左の如し。

亞米利加人	男	女	合計	男	女	合計
...
外國人
黑人
合計

第五款 職業人別 一八八〇年以來職業人別に關しては一の報告なし、而して同年に於ける割合左の如し。

農業	製造業	貿易業	家内業	亞米利加人	獨逸人	不利頓人	愛蘭人	スカンデナヴィヤ人	合計
...

第六款 蒸氣力 据附蒸氣機關に關しては一八八〇年の報告を最近のものとする、然るに其後製造業并に鑛業は凡そ八割の増加を示せるが故に、第十八章第一款に於ては据付機關の數は一八八〇年に比して八割の増加を見積りて計算せり。

第七款 農業 左表は一八九一年より九五五年に至る五ヶ年間平均收穫高を示せるなり。

小麥	玉蜀黍	オート麥	大麥其他	合計	エーケル	噸	一エーケルに付 アッシュセル高	價格、百 萬弗單位	一エーケル に付弗高
...

一八九三年に於ける收穫其他生産高は大概左の如し。

重量、噸數

穀類 馬鈴薯 乾草 肉類

一人に付穀類平均分配高ラツジエレ

新英蘭	四二〇〇〇	三三〇〇〇	五、一〇〇〇〇	八八、〇〇〇	三五
中部諸州	四八五〇〇〇	一、一〇〇〇〇〇	一〇、八〇〇〇〇	三三三、〇〇〇	一一
南部諸州	一三七八〇、〇〇〇	六七〇、〇〇〇	八、一〇〇〇〇〇	一、五九三、〇〇〇	二七
西部諸州	五〇、〇五〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	四、二二〇〇、〇〇〇	二、八一六、〇〇〇	七六
合計	六九一〇〇〇〇	四、五〇〇〇〇〇	六六二〇〇〇〇	四、八三〇、〇〇〇	四一

價格、單位一百萬弗

穀類	肉類	乾草	雜類	合計
新英蘭	一五	五七	七六	一五七
中部諸州	九五	五四	一三八	二五二
南部諸州	二七一	二五二	八〇	四七一
西部諸州	六六八	四六二	二九六	四〇六
合計	一、〇四三	七八三	五七一	一、五〇五
				三、九〇二

一八九三年乃至九四年間に於ける其平均消費價格並に輸出價格は左の如し。

一百萬弗

穀類	生産價格	輸出價格	内國用價格
	一、〇四二	一八四	八五八
肉類	七八五	一六二	六二三
牛乳製作物	四一八	一〇	四〇八
棉花	二七二	二〇〇	七二
家禽	二〇四	—	二〇四
雜類	一、一六一	六六	一、〇九五
合計	三、八八二	六二二	三、二六〇

各年代に於ける生産物の價格は大概左の如し。

百萬弗

穀類	一八四〇年	一八五〇年	一八六〇年	一八七〇年	一八八六年	一八九三年
	二九八	四六五	八三〇	九三一	一、一六七	一、〇四三

棉花	七二	八六	一九二	一九七	二五七	二六八
乾草	九六	一三九	一五八	一九二	三五三	五七一
馬鈴薯	三八	四三	四八	五七	七八	一〇九
煙草	一九	二四	一九	四三	三九	三九
野菜其他	七六	一〇五	一三九	一七三	三四九	三〇四
耕作物總計	五九九	八六二	一三八六	一五九三	二二四三	二二三四
肉類	一三九	一六三	三二六	三九四	七四八	七八五
牛乳	六七	八二	一六三	一九七	三八〇	四一八
家禽	三四	三八	八二	九六	一八六	二〇四
羊毛	一〇	一六	二一	四七	七七	六四
獸皮	一七	二一	四一	四九	九三	九八
合計	八六六	一、一八二	二、〇一九	二、三七六	三、七二七	三、九〇三
公定價格	六二〇	九九八	一九一〇	二、〇八八	三、七二七	

一八八六年以前の公定價格は乾草其他數種の品目を除きたるが故に實際價格の

以下にありき。
第八款 食物の供給

穀物の生産及び消費額は左の如し。

農産物百萬 ブツシエル	人民	家畜	合計
	消費額、單位百萬ブツシエル		
新英蘭	一八	五一	二九
中部諸州	二二五	一五四	一三八
南部諸州	五六〇	二〇一	五四二
西部諸州	二二七五	二九四	一、三五一
合衆國	三、〇六八	七〇〇	二、〇六一
肉類生産噸數			二、七六一
一人に付 リイブラ			二、七六一
牛肉	六五、〇〇〇	七、〇〇〇	一六、〇〇〇
羊肉	七、〇〇〇	一六、〇〇〇	八八、〇〇〇
豚肉	二五、〇〇〇	一〇二、〇〇〇	三三三、〇〇〇
合計	一〇六、〇〇〇	一三三、〇〇〇	四八

附録 合衆國 食物の供給

南部諸州	七五、〇〇〇	七八六、〇〇〇	一、五九三、〇〇〇	一七八
西部諸州	一、四〇七、〇〇〇	二六三、〇〇〇	一、一四六、〇〇〇	二二二
合計	二、四一〇、〇〇〇	三七〇、〇〇〇	二、〇五〇、〇〇〇	一五六
			四、八三〇、〇〇〇	

第九款 家禽 一八九〇年の統計に據れば、牝鶏二億八千六百萬羽、開が生産する所の鶏卵は八億二千萬ダズンにして、即一人に付百五十七箇の割合なり。

第十款 牛乳 一八九〇年に於ける牛乳の生産高は五十二億一千万ガロニにして、開が五割二分は牛酪の製造に使用せられたり。其牛酪の總生産高は四十五萬四千噸なりしが、乾酪に關しては更に知るに由なし。牛乳の生産總額は毎年八千七百萬磅なりとす。

第十一款 耕作地 開が平均面積は四十年前と敢て異なる所なし。

年次	耕作地數	エークル	平均
一八五〇年	一、四四九、〇〇〇	一、一三〇、〇〇〇	七八
一八九〇年	四、五六五、〇〇〇	三、五八〇、〇〇〇	七八

尙之を各州に分類すれば一八九〇年に於ける統計は左の如し。

耕作地數

新英蘭	一九〇、〇〇〇	一〇、八〇〇、〇〇〇	五七
中部諸州	五二五、〇〇〇	三六、一〇〇、〇〇〇	七〇
南部諸州	一、七八五、〇〇〇	一、〇三五〇、〇〇〇	五八
西部諸州	二、〇七五、〇〇〇	二、〇七八〇、〇〇〇	一〇〇
合衆國	四、五六五、〇〇〇	三、五八二、〇〇〇	七八

一八九〇年に於ては地主の耕作せる田畝は其數三百二十七萬にして、小作人の耕作せるもの四十五萬五千あり而して、佛蘭西及び伊太利に通行行はる收穫の半分若くは幾分を地主に納むる永代小作人の耕作せる田畝は八十四萬ありき。此永代小作地は總耕作地に比すれば、一八八〇年に於ける八分に對し一八九〇年に於ては一割を占めたりき。

第十二款 農具 食物を生産する上に於て合衆國の一人力は優に歐洲諸國の四倍に相當せるは蓋し農具改良の效果に由る者なり。一八五五年巴黎博覽會に於て最も衆目を驚かせしものは亞米利加の農具なりき。ゼ、モニテウルは云

へり、曰く、ピットの出品せる米國打穂器は如何なる種類の穂と雖も容易に打落す
 とを得、故に之を他國の器械に比するに三十秒間に於て英吉利製器械は十一、ブッ
 シェル、佛蘭西製の器械は七、アツシエル、而して白耳義製は四、アツシエルを打落す
 間に二十一、アツシエルを打落すを得。其成績實に連枷を以て働く人の七十五人
 前に相當すと。

第十三款 製造業 統計年鑑に據れば左の如し。

年次	製造高		労働者數		每労働者に付	
	新英蘭	中部諸州	南部諸州	西部諸州	勞銀、弗	製造高、弗
一八五〇年	一〇一九	二三七	九五八、〇〇〇	二四七	一、〇六三	
一八七〇年	三、三八六	六二〇	二、〇五四、〇〇〇	三〇二	一、六四八	
一八九〇年	九、三七二	二、二八三	四、七二三、〇〇〇	四八五	一、九九四	
年次	新英蘭	中部諸州	南部諸州	西部諸州	合衆國	
一八五〇年	二八五	四七〇	九六	一六八	一、〇一九	

合衆國の各州に於ける製造高左の如し。

一八七〇年	八〇二	一、四一六	二二五	九四三	三、三八六
一八九〇年	一、四九八	三、六四八	七〇七	三、五二〇	九、三七二

重要なる製造品は左の如し。

	一八五〇年		一八七〇年		一八九〇年		一八九〇年に於ける人力に對する生産物の價格、弗
	勞銀	勞働者數	勞銀	勞働者數	勞銀	勞働者數	
金物	一、二二四	六二二	一、二〇二	七、八四、〇〇〇	一、四〇七		
織物	一八六	四九〇	一、三〇五	八、七八、〇〇〇	一、四八六		
食料品	一、三六	四〇六	一、〇八一	二、二九、〇〇〇	四、七〇〇		
木材	五九	二〇二	五九〇	三、七三、〇〇〇	一、五八〇		
革類	九二	二七一	五一一	二、六〇、〇〇〇	一、九六〇		
雜類	四三二	一、四〇五	四、七八三	二、一八九、〇〇〇	二、一八五		
合計	一、〇一九	三、三八六	九、三七二	四、七二三、〇〇〇	一、九九四		

金物の中には機械を包括し織物の中には衣服を包含す。

第十四款 金物 一八九〇年に於ける開が製作高左の如し。

製作高、弗

労働者數

一人力に付、弗

九三二

ペンシルバニア州	二八八、〇〇〇、〇〇〇	一六四、〇〇〇	一、七五七
オハイヨ州	一〇五、〇〇〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	一、五〇〇
紐育州	九七、〇〇〇、〇〇〇	七三、〇〇〇	一、三二五
イリノイス州	九四、〇〇〇、〇〇〇	五一、〇〇〇	一、八五〇
其他諸州	五一八、〇〇〇、〇〇〇	四二六、〇〇〇	二、二二七
合計	一、二〇二、〇〇〇、〇〇〇	七八四、〇〇〇	二、四〇七

第十五款 鑛業 一八九二年に於ける貴金屬の産出高は左の如し。但一百萬弗の單位を以て計算す。

コロラド	五	三	一	一二	三三
モンタナ	二一	一五	七	七	五〇
カリホルニア	二一	二二	八	一九	八三
ユータ	二一	二二	八	一九	八三
其他諸州	二一	二二	八	一九	八三
合計	二一	二二	八	一九	八三

諸年代に於ける産出鑛物の總價額左の如し。但單位を一百萬弗とす。

石炭	一八五〇年	一八七〇年	一八八〇年	一八九〇年	一八九四年
鐵	二四	九九	一四一	一七七	一八六
銅	一五	三八	九五	一五一	六五
鉛	四	八	一一	三一	三八
石油	—	八	一〇	一三	一〇
金	—	四八	二四	三五	三六
銀	—	五〇	三六	三三	四〇
雜類	—	一六	三〇	五三	二八
合計	一〇七	三二〇	四三四	六三六	四九一

一八九四年ペンシルバニア州に於ける鑛物の産出額は一億六千六百萬弗にして即ち總額の三割四分に相當す。

第十六款 通商 其の重要品は左の如し。

輸入高、單位百萬弗

	一八六〇年	一八八〇年	一八九四年
砂糖	七五	一二九	棉花
珈琲	六〇	九〇	穀類
羊毛	三三	二〇	肉類
鐵	一八	二一	石油
生絲	三二	二五	煙草
雜類	二一六	四〇一	雜類
合計	三五四	六六八	合計

輸出高、單位百萬弗

一八六〇年に於ては紐育の貿易總額は八億九千六百萬弗即ち總額の五割二分を占め、ボストンは一億六千五百萬弗にして其他の諸港にありては右總額より遙に下れり。

第十七款 鐵道 一八九二年に於ける開通哩數を人口並に廣表に比較すれば左の如し。

新英蘭 中部諸州 南部諸州 西部諸州 合衆國

人口百萬人に付哩數 一三五五 一四二六 二二九〇 四〇五五 二六三〇
 廣表百萬エロクフルに付哩數 一五七 二九三 八五 八〇 九一

第十八款 貨幣 貨幣の總額は左表に示すが如く十二ヶ年間に於て殆ど五割の増加をなせり。但し單位は百萬弗とす。

	國庫現金高		流通高		合計
	一八八三年	一八九五年	一八八三年	一八九五年	
金貨	一九八	一四三	三四五	四七五	五四三
銀貨	一四五	五〇三	八二	一一三	二二七
合衆國紙幣	七六	一四三	四五五	七九四	五三一
銀行紙幣	八	七	三四八	二〇七	三五六
合計	四二七	七九六	一三三〇	一五九九	一六五七

合衆國紙幣の中には一八九五年に於ける總計三億九千三百萬弗の大藏省證券を包含す。

第十九款 利得 之を人口と比較すれば左の如し。

年	人口	利得、百萬弗	一人に付利得、弗
一八四〇年	一七〇七、〇〇〇	一、四六四	八六
一八七〇年	三、八五五、八〇〇	六、三二六	一六四
一八九三年	六、六八二、〇〇〇	一三、九六八	二〇九

一八九三年に於ける利得を合衆國の各州に分類すれば大概左の如し。

州	人口	利得、百萬弗	一人に付利得、弗
新英蘭	四九〇、〇〇〇	一、六二二	三三〇
中部諸州	一、四八〇、〇〇〇	四、三二〇	二九一
南部諸州	一、九三〇、〇〇〇	一、八一四	九四
西部諸州	二、七八〇、〇〇〇	六、二二二	二二四
合衆國	六、六八〇、〇〇〇	一三、九六八	二〇九

第二十款 富有 統計年鑑に據れば左の如し。

年	一人に付弗高
一八五〇年	一百萬弗
一八七〇年	一百萬弗
一八九〇年	一百萬弗
一八五〇年	一人に付弗高
一八七〇年	一人に付弗高
一八九〇年	一人に付弗高

新英蘭 一、二二九 三四九六 五、二二三 四一三 一、〇〇五 一、二二二

中部諸州 二、二五六 一〇、四六八 一七、八一九 三四〇 一、〇六〇 一、二六〇

南部諸州 二、五九一 三、〇五五 九、九二八 三二四 二七〇 五、三九九

西部諸州 一、一六〇 八、九六四 三二、〇六七 二〇八 六四〇 一、二六二

合衆國 七、一三六 二五、九八三 六五、〇三七 三〇七 六七三 一、〇四九

一八五〇年乃至一八九〇年間に於ける毎年平均富有額は新英蘭に在りては人口一人に付平均二十八弗、中部諸州に在りては三十八弗、南部諸州にありては十四弗、西部諸州に在りては四十九弗にして合衆國全部を通算すれば三十五弗となるなり。而して一八五〇年の富有額中には奴隸を算入せり即ち其の員數は三百二十萬人にして價格は一人に付平均三百五十弗即ち總計十一億二千萬弗なり。一八九〇年に於ける不動産の價格左の如し。但し單位を一百萬弗とす。

州	土地	家屋其他	合計	一人に付所得、弗
新英蘭	四九〇	二、四九五	二、九八五	六三五
中部諸州	二、二七二	八、二七一	一〇、五四三	七五三

南部諸州	一、三五四	二四七〇	四八二四	九三八	二六三
西部諸州	八、二六三	九、一九六	一七三九九	六八〇	六八〇
合衆國	一、三二七九	二二、四三二	三五七一一	五七一	五七一

第三十節 加拿陀

第一款 農業

耕作地面積左の如し。但し一千エーカーを單位とす。

小 麥	一、四三〇	一九〇	九〇〇	二〇〇	二七二〇
オート麥	一、八六〇	七五〇	三三〇	一一九〇	四、一三〇
大麥其他	一、七五〇	二八〇	三六〇	五二〇	二、九〇〇
穀物總計	五、〇四〇	一、二二〇	一、五九〇	一、九〇〇	九、七五〇
乾 草	二、五三〇	二、四六〇	二五〇	九七〇	六、二一〇
雜 類	五四〇	一、五〇〇	九九〇	九二〇	三、九四〇
合 計	八、二一〇	五、一八〇	二、八三〇	三、七八〇	一九、九〇〇

第二款 家畜

一八九三年の報告に據れば一千の單位に於ける計數左の

如し。	馬	牛	綿羊	豚	價格、磅
オンタリオ	六八〇	二〇二〇	二二〇〇	一一四〇	二二、八〇〇、〇〇〇
クエベック	三五〇	九七〇	七三〇	三七〇	一〇、四〇〇、〇〇〇
アーカーヂヤ	一六〇	六二〇	六六〇	一四〇	六、一〇〇、〇〇〇
北西諸州	二〇〇	五四〇	一六〇	一一〇	五、〇〇〇、〇〇〇
合 計	一、三九〇	四、二三〇	三、五七〇	一、七七〇	四四、三〇〇、〇〇〇

若し之に家禽を加算せば總計價格四千六百萬磅を越ゆるなる可し。

第三款 船舶

一八五三年に於て大洋航行汽船の碇泊したるはモントリールを以て嚆矢とす然るに一八九三年には八百四隻の汽船碇泊せり。而して同年加拿陀全港灣に入港したる船舶噸數は九百八十萬噸にして其内モントリールは百五十八萬噸クエベックは九十八萬噸なりき。

第四款 家屋

一八九三年に於ける各市府の評定價格は左の如し。

トロント	三二、四〇〇、〇〇〇	ハミルトン	五、一〇〇、〇〇〇	ウインニベ	四、四〇〇、〇〇〇
モントリール	二二、六〇〇、〇〇〇	セントジョ	五、一〇〇、〇〇〇	ツグ	三、八〇〇、〇〇〇
クエベック	七、一〇〇、〇〇〇	ハリファツ	四、五〇〇、〇〇〇	チャッタワ	三、八〇〇、〇〇〇
		クス	四、五〇〇、〇〇〇	ヴァントー	三、八〇〇、〇〇〇

第五款 富有

一八三〇年サーヘンリーパーネル氏は各市府並に總ての占有他を總括して加拿陀に於ける不動産の價格を六千萬磅と計算せり當時占有地は二千七百萬エーシャルなりき。右不動産の價格は現今三億七千五百萬磅に上り。

第三十一節 濠洲

第一款 職業

一八九一年の統計年鑑には七殖民地の職業人別表を掲げたり然れども南部濠洲の統計は之を除きたり此故に第二十章第一節に掲げたる表中に开が九分を附加すべし。

第二款 蒸氣力

統計年鑑に據れば四殖民地に於ける製造所の蒸氣力を掲げたれどもクインスランドタスマニヤ並に西部濠洲に於ける蒸氣力は之を掲

げざるなり。要するに全濠洲に於ける製造所の蒸氣力は總じて十萬五千馬力なりとす。而してニューサウス、ウニールスの諸製造所に於ては濠洲全部の据附蒸氣力の四割を占む。されば今假りに他の各殖民地の統計を事實とすれば濠洲に於ける蒸氣力は總計左の如くなる可し。

	据付機關	鐵道機關	蒸氣船	合計	人口一千人に對する馬力
ニューサウス、ウニールス	七五、〇〇〇	一〇五、〇〇〇	五五、〇〇〇	二三五、〇〇〇	一八八
ヴィクトリヤ	八〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇	一九四
南部濠洲	一五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一三〇
タスマニヤ	七〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	三二〇、〇〇〇	二〇〇
ニューシラ	五五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	一四五、〇〇〇	二二〇
クインスラン	二五、〇〇〇	五五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	二二二
西部濠洲	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	一六〇
合計	二六〇、〇〇〇	三八五、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	八三五、〇〇〇	一九〇

第三款 羊毛

濠洲に於ては過去十ヶ年間に於ける羊毛輸出額總計二億

萬磅なりき即ち左の如し。

ニュージーランド	九〇、八〇〇、〇〇〇	ニュージーランド	三〇、四〇〇、〇〇〇	南部濠州	一四、二〇〇、〇〇〇
ウエールズ	三五、六〇〇、〇〇〇	クイーンズランド	二五、一〇〇、〇〇〇	タスマニア	三、七〇〇、〇〇〇
イギリス	三、五〇〇、〇〇〇	タスマニア	三、七〇〇、〇〇〇		

第四款 家畜

家畜の頭數並に價格は左の如し。但し豚を除く。

頭數、單位一千頭		價格、單位一千磅				
馬	牛	馬	牛			
綿羊	綿羊	綿羊	綿羊			
合計	合計	合計	合計			
ニュージーランド	二、四七〇	五七、〇〇〇	四、六〇〇	一一、八〇〇	一六、〇〇〇	三三、九〇〇
ウエールズ	一、八三〇	一三、二〇〇	四、五〇〇	一〇、九〇〇	四、三〇〇	二〇、一〇〇
イギリス	九六〇	二〇、二〇〇	二、五〇〇	六、〇〇〇	一〇、三〇〇	一九、二〇〇
ニュージーランド	七、〇一〇	一九、六〇〇	三、四〇〇	二、三二〇	五、七〇〇	三二、四〇〇
南部濠州	四、二〇〇	七、三〇〇	一、八〇〇	三、一〇〇	二、二〇〇	七、二〇〇
タスマニア	一、八〇〇	一、七〇〇	二、五〇〇	一、二〇〇	八、〇〇〇	二二、二五〇
西部濠州	一、九〇〇	二、一〇〇	四、五〇〇	九、〇〇〇	五、〇〇〇	一八、五〇〇

合計 一、八八〇 一、三〇六〇 一、二二一〇〇 一、七五〇〇 五、六九〇〇 三、九八〇〇 一、二五、九〇〇

若し之に家禽を加ふれば總計價格壹億二千萬磅に上るなる可し。

第五款 利得

第二十章に掲載したる利得の計算表に於ては利得の四源泉を一括して諸職業なる名稱の下に短縮し掲出するの必要ありたり、乃ち左に之を掲ぐ。

ニュージーランド	一、五〇〇	四、五〇〇	五、三〇〇	六、〇〇〇	一七、三〇〇
ウエールズ	一、三〇〇	四、九〇〇	三、四〇〇	六、〇〇〇	一五、六〇〇
イギリス	一、一〇〇	一、五〇〇	二、三〇〇	三、一〇〇	八、〇〇〇
ニュージーランド	八〇〇	一、三〇〇	一、七〇〇	二、一〇〇	五、九〇〇
南部濠州	三〇〇	九〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	三、八〇〇
タスマニア	三〇〇	七〇〇	四〇〇	六〇〇	二、〇〇〇
西部濠州	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	一、三〇〇
森林業其他		家内業	公共事業	諸職業	合計

附錄 濠洲 家畜 利得

合 計……………五六〇〇 一四、一〇〇 一四、七〇〇 一九、五〇〇 五三、九〇〇
第六款 富有 一八九〇年に於けるコロラン氏の計算は左の如し、但し單位を百萬磅とす。

土地并に家屋……………	ニュージーランド	ウエーリス	其他各殖民地	合 計
……………	……………	……………	……………	……………
家畜(豚を含む)……………	……………	……………	……………	……………
……………	……………	……………	……………	……………
雜 類……………	……………	……………	……………	……………
……………	……………	……………	……………	……………
合 計……………	……………	……………	……………	……………

之を人口に比例すれば一人に付二百九十一磅の割合なり。而して五殖民地に於ける登記所の報告に據れば一八八一年乃至九二年の十二ヶ年間の死亡者の數は五十三萬三百人にして死亡に由りて所有主を變更したる財産の價格は一億五千二百二十萬磅即ち死亡者一人に付三百四磅幼兒并に貧民を算入すの割合なりとす。

第七款 公債 一八九五年に於ける公債市債を包み並は國有鐵道の價格は左の如し。

	公債、磅	鐵道、磅	純公債、磅	毎一人に付、磅
ニュージーランド、ウエーリス……………	五八二〇、〇〇〇	三九〇〇、〇〇〇	一九二〇、〇〇〇	一五〇
ヴァイクトリア……………	四八〇〇、〇〇〇	三七六〇、〇〇〇	一〇、四〇〇、〇〇〇	八七
ニュージーランド……………	四〇〇〇、〇〇〇	一六〇〇、〇〇〇	二四〇〇、〇〇〇	三四〇
クイーンズランド……………	三〇、六〇〇、〇〇〇	一六、五〇〇、〇〇〇	一四、一〇〇、〇〇〇	三一〇
南部 濠洲……………	二二、三〇〇、〇〇〇	一六、〇〇〇、〇〇〇	六三〇〇、〇〇〇	一八〇
タスマニア……………	八、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	二五〇
西部 濠洲……………	三、四〇〇、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇	—	—
合 計……………	二二〇、八〇〇、〇〇〇	一三二、八〇〇、〇〇〇	七八〇〇、〇〇〇	一八五

第八款 肉類の輸出 一八八四年濠洲に於ける肉類の輸出高は噸數三萬一千噸にして其價格八十萬磅なり而して一八九四年には十二萬五千噸にして價格二百六十萬磅なりき。ニュージーランドに於ける其輸出額は總額の半數を占む。

正誤

今幸に羅馬府より官廳の報告を得たるを以て此に少しく前述の誤謬を正さんとす。其報告に據れば伊太利に於ける手工一日の働力は五年一八九九前陳二十七億五千萬フットトンの代りに二十九億四千萬フットトンとなるなり。又農業に従事せる成年者の員数は六百八十四萬人と記載せしが是亦少くも七百八十萬人に上るなり。乍然一八九四年に於ける製造所に使用したる水力は今や二十五萬馬力に達したれば若し此中に伊太利の働力全部を包括すれば毎一日の働力百三十二億六千萬フットトンにして即ち人口一人に付前陳四百フットトンの代りに四百二十八フットトン達するなるべし。

萬國國力比較終

明治三十三年六月廿二日印刷
 明治三十三年六月廿五日發行

定價金貳圓五拾錢

譯者

大石熊吉

東京府豊多摩郡戸塚村大字下戸塚七十六番地

譯者

前川九萬人

東京市芝區琴平町三番地

發行者

吉田俊雄

東京市牛込區赤城下町二十七番地

印刷者

青木弘

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

發行所

東京專門學校出版部

東京府豊多摩郡戸塚村大字下戸塚村六百四十七番地

印刷所

英舍

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

法學博士 鳩山和夫君 法學博士 穂積陳重君 法學博士 富井政章君
 法學博士 戸水寛人君 法學博士 岡村輝彦君 帝國大學教授 Fクトル
 法學博士 梅謙次郎君 法學博士 菊池武夫君 ノーホルム君 批評
 獨逸柏林大學教授 ハイソリヒ、デルンブルヒ氏原著
 法學士 副島義一 法學士 瀨田忠三郎 法學士 古川五郎 合譯
 法學士 中村進午 法學士 山口弘一

獨逸民法論

附 獨逸民法正文 (定價金八圓)

獨逸民法は歐米先進國の法律中最も完全なる者にして法理の新主義に據り理論に偏せず實際に倚らず善く其中庸を得たる者と稱せらる我新民法は其基礎多く獨逸民法に據れるが故に荷も我民法を研究せんとする者勢ひ獨逸民法を明にせざる可からず又近世民法の理の蘊奥を討究せんとする者致々として獨逸民法を學ぶの要あり而して獨逸民法は全くパンテクテンに基くが故に獨逸民法の研究はパンテクテンに據るの外なし本書は獨逸有名民法學者アルンブルヒ氏の著近世民法の一般元則を闡明して餘蘊なし本校譯して此書を翻譯して法學社會を裨益せんとアケテンにして約三千五百餘頁の大卷に頒たんとす獨逸民法正文を附せり尙翻譯の正確と校正の周密有るに至れるが故に無二の廉價を以て汎く世間に頒たんとす

●定價 ○第一卷金壹圓七拾五錢 ○第二卷金壹圓七拾五錢 ○第三卷金貳圓貳拾五錢 ○第四卷金貳圓貳拾五錢
 ●郵送料 ○第一卷金十六錢 ○第二卷金十六錢 ○第三卷金二十錢 ○第四卷金二十錢を要す
 ●小包取扱局所在地は一卷毎に十里以内七錢 ○百里以内十二錢 ○百里以外廿四錢を要す

發行所 東京市牛込早稲田 東京專門學校出版部
 東京市神田區一橋通町 吉有斐書閣
 發賣所 大阪市備後町四丁目 吉岡書店

●新刊廣告●

英國マヤスチン、マツカーシイ原著
 高田早苗 助共譯
 日本吉田巳之助

英國今代史

全部三卷の中上卷千百餘頁
 背皮金文字入上製
 正價 貳圓貳拾錢
 郵稅 貳拾錢

本書は多材多能の政治家として卓識の政論家として多感多情の小説家として又該博精通の歴史家として今日英國に昨々年の發行に係かり原名をヒストリー、オプ、アワー、オウン、タイムスといふ現代の歴史といふの義なり則ち其名英國現女皇の即位より金剛石祝典迄の英國史なり而して單に英國現代史といふと卷千七百頁餘の中に叙述したるものなれば其の三千餘頁あり即ち英政治宗教文學教育工藝等國家社會百般の事政黨の消長人物の去來細大寫出宛然活畫の如し而して麗圓轉の叙事痛快銳利の論評は今世英國史筆の模範と爲り英國人は之を以てマコーレーの再來と爲す其の始めて公世以來上三十餘版を重ねたりといふを聞くのみにて本書の價值は之を推知するを得べし高田吉田中二卷は既に三井の三氏去る明治廿七年以來協力して之を翻譯に從事し本年に入りて漸く譯了し其第一卷は今や上梓せり尙二卷三卷も今方さに印刷中なれば引續き之を世に頒つを得べし

●新刊廣告●

佛國巴爾本著
法學博士 有賀長雄 序
法學博士 宮本平九郎 譯
新譯

早稻田
小篇

國際法論

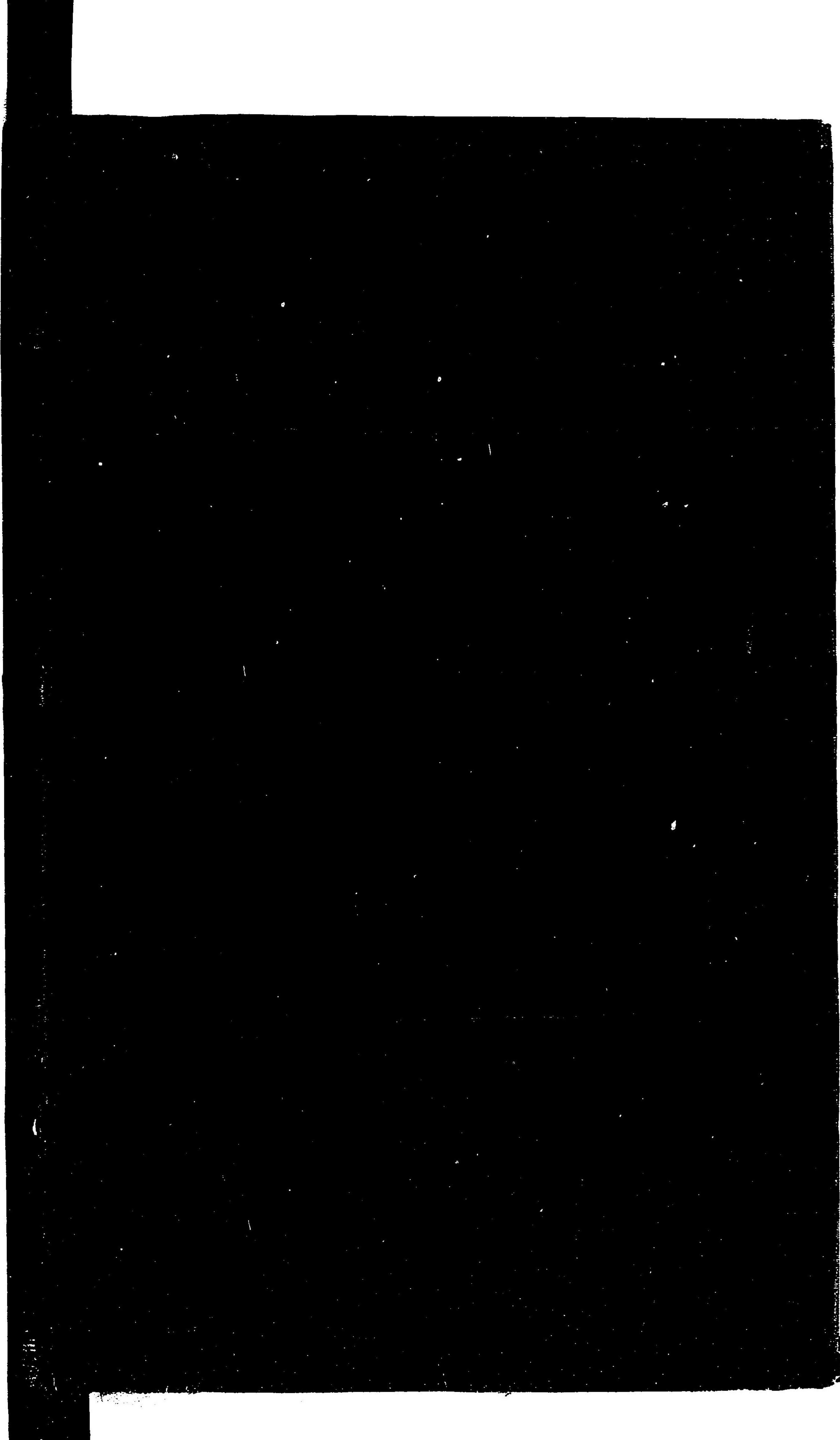
全一冊
定價金參拾五錢
郵税金四錢

有賀長雄氏本書に序して曰く「佛國現時の國際法學者は第一指をルイ、ルノール氏に屈せざるべからず而してルノール氏の名を爲す實に此國際法論に在り」と以て本書の眞價を判するに足らん本書一小篇に過ぎず其簡潔なる行文と以て國際法の概念を説き其淵源を詳にし斯學研究の參諸大家の好著と紹介する等周到餘す處なく稀有の寶典と稱するも溢美にあらざるを志を斯學に有す

發行所
發賣元
大取次

東京牛込早稻田
日本橋區本町三丁目
神田區一橋通町
大阪備後町四丁目
東京專門學校出版部
博文館
有斐閣
吉岡書店

87
22



87

045509-000-1

87-22

万国国力比較

ミケール・マルホール/著

M33

BDR-0095



